

8月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 枚方大橋～大阪府京都府境界(京阪橋本駅付近)(左岸25.7k～34.6k)		
モニター実施日時	令和 2年 8月 18日(火) 16時30分頃～18時頃		
天 候	快晴		

(見出し)

今月は、淀川の、楠葉中之芝二丁目先サイクリングロード付近～楠葉花園町11先サイクリングロード付近についてモニターしました。

ゴミの投棄、迷惑行為等、施設などの異常・損傷、河川内の植物・ について報告します。

(内容)



河川調査は、「よどがわ 大阪湾まで約34.6km」の看板の付近から大阪方面(樟葉パブリックゴルフコース方面)に向かって開始しました。

○中之芝二丁目先サイクリングロード付近の枯れた草木



サイクリングロードの両横には大人の男性ほどの身長ほどの草木が生えていました。

笹なども生えていましたが、連日の猛暑でかかれていました。このあたり一帯は木より笹の方が多かったです。



また、同所付近の新型コロナウイルス感染症に関する掲示物の横に、獣道のようなものが出来ており、釣りなどをしている方が、河川まで降りるために利用している様子でした。

新型コロナウイルス感染症に関する掲示板自体も、背が低く、2枚のうち下の掲示物（画像 3密に関する掲示物）は、草木に少し隠れて、見にくい印象を受けました。

○サイクリングロードや、雑草の中に投棄されているゴミなど



今回調査した区間全域にわたり、サイクリングロード上や、雑草の中に、ペットボトルや保冷剤、お菓子の袋やタバコの吸殻、様々なゴミが投棄されているのが目につきました。

景観上の問題もありますが、このゴミを自転車で走っている利用者やウォーキング、ランニングしている利用者が踏み、転倒してけがにつながりかねないので、安全上の問題もあるかと思われます。

○掲示物の見にくさ、見つけにくさなど



左・徒歩や自転車などを利用していると見落とすような大きさの看板

右・近づいてよく見てみると、「緊急河川敷道路」についての説明の看板

調査中、複数の看板が立っていましたが、どれも見にくい、見落としやすいものでした。

上の左の画像では、背の高い草の中にぼつんと小さな看板があります。これは、徒歩はともかく、サイクリングなどで

利用している方は見落としてしまうような大きさです。

近づいて見てみると「緊急河川道路であって、自転車専用道路ではないため、マナーを守り利用してください」との重要な内容であることがわかります。

このような重要な看板は、もう少し大きいサイズで、色使いを分けるなど、わかりやすくするべきかと思います。



また、上記の画像のような（「よどがわ 大阪湾まで約34.6km」の看板から1km程下流に向かって歩いたあたり）の、自転車の集団走行に関する注意喚起・徐行の看板に至っては、看板の面積の半分以上が草に隠れて見えない状態です。こういった看板の保守・管理はしっかりしていただきたいです。



楠葉中之芝1丁目先付近の取水場のような施設のまわりに、広場のようなものがあり、建物の日陰でカラスが沢山つろいでいました。



くずはゴルフ場 No4 ホール付近の橋の下を通っている小川の写真です。

水は透明感が有り、綺麗だと感じました。

自転車事故多発の看板があり、一度自転車を降りて押して行かないと通れないようになっています。



また、同所では、橋の上で休憩する利用者がおおいのか、何本もタバコの吸殻が捨ててありました。一番吸殻ゴミのポイ捨てが多い場所でした。

この先少し行くとゴルフ場のコースを迂回する形で大きく右に道が曲がります。このあたりも様々なポイ捨てゴミが落ちていました。サイクリングコースや河川敷の利用者でなくゴルフ場の利用者が投げ捨てている可能性もあるようなゴミでした。



くずはゴルフ場のNp4ホールのそばを大阪方面に歩いていくと、ゴルフ場の柵の網の上であまりの猛暑に、カラスも口を開けて休憩していました。

このあたりから、道から時々川が見えるようになります。



また、イモムシが道路を横断しており、轢かれそうだったので、草むらの中に移動させました。

草といい、カラスといい、昆虫といい、河川敷も自然に溢れ、生き物が生き生きとしており、いい環境だ、と感心しました。

○町楠葉二丁目先付近サイクリングロードの亀裂



くずはゴルフ場No4ホール横のサイクリングロード（町楠葉二丁目先付近）の道路が陥没？亀裂？していました。自転車の車輪が引っかかって転倒事故などになる可能性もあるので、保守点検をお願いします。そのほかの道路は綺麗でした。



また、上記の道路の亀裂からしばらく大阪方面に歩いた場所あたりから、河川方面に向かって獣道が複数あり、釣りをされている利用者が自転車を止めていました。



また、府道13号線楠葉交差点より、京都方面に270mほどの地点のサイクリングロードに大きな木が生えており、その下に小さなベンチがあり、非常に自然豊かないい休憩所がありました。しかし、ここにもペットボトルのゴミが捨ててありました。せっかくの良い環境なのに、非常に残念です。



上記の大きな木のある休憩所より大阪方面に10mちょっと先に、魚類調査のお知らせの看板がありました。しかし、サイクリングロードの端より更に奥まった位置にあり、また、看板の背が低いため、非常に見にくかったです。

もう少し道路側に、高さを高くして大きめに掲示したほうがいいと思います。



樟葉駅付近のサイクリングロード、調査開始地点から大阪方面に約1.8km付近のゴルフ場の広場のようところで調査を終了しました。

終了地点付近の鉄塔の下に獣道のようなものがあり、誰かが入ったようなあとがありました。

最後に、位置関係がわかりにくかった為、今回調査した地点をGoogleMapと照らし合わせた地図を作製しました。



報告の写真と照らし合わせてご覧ください。

8月の報告は以上になります。

(意見・感想・処置等)

八月のモニターレポート有難うございました。

今年の夏は記録的な暑さとなり、全国的に猛暑が続きました。

八月は西日本では統計開始以降1位タイの記録的な暑さだったそうです。

反対に降雨量は記録的に少なく、西日本では1位タイの少雨だったそうです。

また、日照時間については全国的に長く観測開始以降で1位タイの記録だったそうです。

このような気象条件が重なったせいでしょうか、個人的な感想ですが淀川河川敷の草木は猛暑と日照時間の長さのせいで今年は本当によく伸びていました。

ただ、少雨のせいで枯れてしまった草木もあったのではないのでしょうか。

この様によく伸びた草木のせいで「緊急用河川敷道路」沿いの大半の看板はモニターして頂いた通り見にくく、見つけにくい状態となっていたのを私も気にはなっておりました。

予算上の制約もあり「緊急用河川敷道路」沿いについては年2回の草刈りの対象とはなっていないため、気が付けば直営で周辺の雑草を刈っていたのですが、今年は雑草の成長に作業がなかなか追いつきませんでした。

今後は雑草の生育等も考慮して看板自体の設置位置、また看板そのものも見やすく・認識しやすいサイズ・認識しやすい表現等の内容についても検討してまいりたいと思います。

モニターしていただきました「サイクリングロード」ですが、あくまでも「緊急用河川敷道路」として大規模災害時に堤防の復旧や緊急車両の移動をスムーズにするために河川管理者が設置した道路です。

普段は一般の方に散策・ランニングやサイクリング等の目的で自由に使用していただいておりますが、自治体が設置した「自転車歩行者専用道」ではありません。

自治体が設置した「自転車歩行者専用道」は道路法の適用を受けていますが、「緊急河川敷道路」は道路法上の道路ではないため道路標識等の設置はしてありません。

「緊急用河川敷道路」を走行する自転車のなかには高速走行する方や危険な走行をする方も多く見受けられ、他の河川利用者からの苦情も発生しています。

このため河川管理者が独自に注意看板を設置し、注意を促しておりました。

最近も「緊急用河川敷道路」である旨の看板を新たに設置しております。

自転車の走行にあたっては十分に安全に留意していただきたいものです。

それでは九月のモニター報告をお待ちしております。